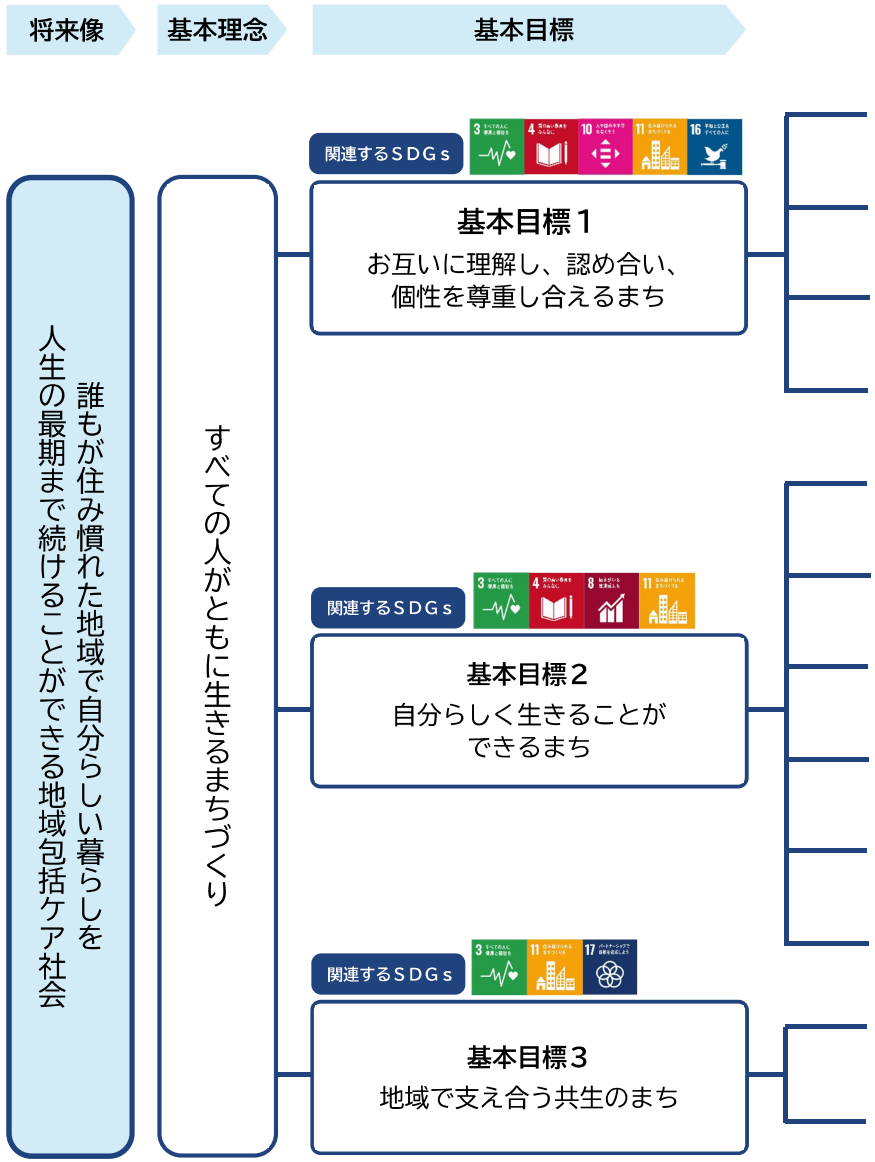
4 計画の体系



本計画で取り組むべきＳＤＧｓの目標



施策の方向	達成された姿
1　障がい者理解の促進	障がいへの理解が深まり、誰もがお互いを認め合い、尊重されている。
2　交流・ふれあいの推進	障がいの有無に関わらず、誰もが共に交流し、共生している。
3　ユニバーサルデザインの推進	誰もが平等に利用できる環境が整っており、安心して生活ができている。
4　権利擁護の推進	誰もが人権を尊重され、自分らしい生活を送ることができている。
5　相談支援体制の充実	困ったときにすぐに相談でき、誰もが将来にわたりサポートを受けることができる体制が整っている。
6　一貫した療育支援体制の確立	地域で切れ目のない一貫した療育支援が受けられている。
7　就労支援の充実	一人一人に合った就労支援により、やりがいをもって働くことができている。
8　居住支援と健康づくりの推進	可能な限り、住み慣れた地域で安心して地域で暮らし続けることができている。
9　社会参加の促進	地域や社会の様々な活動に参加しやすい環境が整っている。
10　日常生活を支えるサービス提供体制の推進	住み慣れた地域で、安心して生活できるサービスが整っている。
11　地域防災ネットワークの構築	大きな災害があっても、地域における顔の見える関係性と自助の意識から、誰もが安全に避難や生活が継続できている。
12　地域をつなぐネットワークの構築	支援が必要な人を早期に発見し、適切な支援が図られるネットワークがある。